



第103号 令和4年
3月1日



～そだてようみんなの力で愛の輪を～

お元気マップ協力事業所の既存のベンチ

ステッカー貼付



やいたベンチプロジェクトが始まりました!

～高齢者・障がい者の外出支援をととして、
住む人みんなにやさしいまちづくりを進めています～

ベンチづくり



打ち合わせをしながらベンチの試作

ベンチプロジェクトの詳細は、7ページをご覧ください。

発行 社会福祉法人
矢板市社会福祉協議会
編集 社協だより編集委員
矢板市扇町二丁目4番19号
TEL 0287-44-3000
印刷 株式会社 幕 巻



- 福祉活動表彰2
- ご協力ありがとうございます3
- ご利用ください4～5
- 助け合い・支え合いのある地域づくり6～8
- お元気だより 第9号9～11
- 立志式のプレゼント贈呈 他12



福祉活動表彰

(敬称略・順不同)

〈令和3年度社会福祉法人栃木県社会福祉協議会会長表彰〉

◎民生委員・児童委員功労者 島田次秀 関本ミネ子 小川幸子 村上久美子 八板るみ子

◎社会福祉法人功労者、社会福祉施設、団体関係功労者

- ・社会福祉法人寿光会 渡邊はつみ 荒牧紗矢香
- ・社会福祉法人たかはら学園 中山訓安
- ・社会福祉法人厚生会 後藤直美 鎗木伸一 福島香那子 磯明美

〈令和3年度社会福祉法人矢板市社会福祉協議会会長表彰〉

◎ボランティア部門

現在活動中のボランティアまたはボランティアグループ、ボランティア校、その他の団体で7年以上福祉に関する活動を行い、他の模範である者

- ・老人給食ボランティア 粉川みき子 笹沼弘子 佐藤愛子 外谷珠恵 中澤洋子 福田美与子
石川順子 池田美由紀 及川健二 栗田恵美子 小平英量 齋藤武一
白石哲夫 山口直子
- ・子育て生涯支援ボランティア 石田定我

◎社会福祉活動功労者部門

障害者支援功労者等で、7年以上活動し、その功績が顕著である者

- ・音訳ボランティアさざ波 大島光子

◎その他 地域福祉のために尽力し、その功績が顕著である者

- ・多数年にわたり、地域福祉振興基金等へ20万円以上寄付した者 木下ミサ子



一般社団法人たかはらさくら青年会議所と 「災害時における協力体制に関する協定」を締結しました



様々な災害リスクに備えるため、令和3年12月19日（日）矢板イースタンホテルにおいて、一般社団法人たかはらさくら青年会議所と「災害時における協力体制に関する協定」を調印しました。

この協定は、災害ボランティアセンターが開設された際、JC（青年会議所）が人員派遣や資材提供などの支援を迅速に実施できるよう、あらかじめ支援内容や体制を整えることを目的としています。この協定締結により、災害ボランティアセンターの運営等について、さらに体制が強化されました。

ご協力ありがとうございます

令和3年11月16日～
令和4年2月15日受付分
(順不同・敬称略)

＜赤い羽根共同募金 令和3年度(1月現在)＞

■募金の目標額……3,750,000円	■募金の使いみち
■実績額……4,040,397円	●小中高等学校への福祉教育費助成
■内訳 戸別募金…3,573,688円	●地域福祉活動の推進
法人募金……295,620円	●生活困窮者への支援
職域募金……101,930円	■募金の配分先と金額
個人募金……22,755円	●矢板市社会福祉協議会
その他……46,404円	……………2,519,772円

＜歳末たすけあい募金 令和3年度＞

■実績額 ……………1,872,186円
■内訳 戸別募金 ……………1,872,180円
その他(利息) ……………6円
■矢板市内の配分先と金額
●歳末たすけあい見舞金事業(低所得世帯40世帯60人)…640,000円
●年末年始ボランティア活動への助成(13団体) …363,000円
●社会福祉功労者表彰式の開催 ……6,320円

＜地域福祉振興基金(高原基金)＞

- ・泉龍寺写経会……………10,000円
- ・矢板保育園保護者会 矢板保育園職員一同 ……38,158円
- ・匿名……………20,000円

＜善意銀行＞

- ・金田トシイ… 6,661円
- ・窓口募金箱… 1,292円
- ・匿名……………1,605円

盲導犬育成にご協力いただき、
ありがとうございました。

1,505円

2022年1月13日

公益財団法人 東日本盲導犬協会へ
お届けしました。



＜善意銀行預託＞

- ・長岡悦子 …………… さつまいも
- ・石岡慎也 …………… ベビーベッド、ベビーチェア
- ・山口秀夫 …………… 米20kg
- ・福田トシ子 …………… 編みぐるみ60個
- ・日本たばこ産業株式会社…………… パックご飯800個
- ・北川正幸 …………… 米80kg
- ・矢板利一 …………… かぼちゃ20kg
- ・渡辺瞳 …………… ホットケーキミックス、油、コーヒー他
- ・安沢ほほえみ会 …… 調味料、乾麺、お茶、醤油、石鹸他
- ・津久井信一 …………… 玄米30kg
- ・金田ミヨ子 …………… 白菜16ケ、ネギ3袋
- ・高橋昌子 …………… うどん箱詰め2個、ゼリーセット他

- ・宗教法人宝福寺 …………… 落花生1箱、米3袋他
 - ・沼田律子 …………… ベビー布団一式
 - ・植木良子 …………… 紙オムツ
 - ・ワンケヴィンショウイチ …………… 木の電車
 - ・JAしおのや女性会 …………… 食品他
 - ・遠藤千恵子 …………… 靴下
 - ・鈴木ヨシ子 …………… 紙オムツ(子供用)
 - ・ダイナム栃木矢板店 …………… 食品品他45個
 - ・佐藤美江 …………… コーヒー他7品
 - ・大島尚子 …………… ポータブルトイレ
 - ・匿名の方々から…米、赤ちゃんのおもちゃ、くだもの、油、調味料、
そうめん、タオル30本、菓子類、飲み物、パン 他
- お預かりした品は、施設や困窮相談者にお渡ししています。

キッチンやいた

— 食でつながる人と地域 —



▲
安沢ほほえみ会
豆もち、みかんなどの寄付



▲
共同募金配分事業等で購入
した品と一しょに年末訪問
の際お渡ししました。

令和3年年末訪問実績 30世帯

※米、野菜の寄付の登録をお願いします※

令和3年4月～12月までに延べ112世帯へ
食糧品を配布しました。

～募集しています～

※ 音訳ボランティア ※ (簡単なパソコン操作が出来る方)

- ★活動内容 目の不自由な方へ、市の広報・社協だより・議会だより等をDAISY(パソコンを使用してCDに編集)で郵送します。
- ★活動場所 きずな館又は自宅
- ★活動時間 隔月2回(年12回)日時、日程はグループで調整

※ ボランティア連絡会登録 ※

- ★随時受け付けております。登録すると、横の連携や情報交換のために各ボランティアグループや市民活動団体のプロフィールを自由にご覧いただけます。



地域で子育て 矢板市ファミリーサポートセンター

1. 会員数(1月31日現在)

総会員数	309人
提供会員	94人
依頼会員	189人
両方会員	26人

2. 令和3年度活動状況(4月～12月)

21件

主な活動内容

★保育所・幼稚園・小学校の迎え

及び帰宅後の預かり…………… 11件



困りごと・悩みごとはこちらまで!

◆無料法律相談会

- 日時：毎月第3木曜日(休日等の場合は翌日) 9時～12時
- 場所：きずな館 2F会議室
- ◎予約制 相談日前々月の1日から受付します。

◆心配ごと相談

- 日時：毎週火曜日(第2火曜日、祝日を除く) 9時～12時
- 場所：きずな館 2F会議室
- ◎予約不要 直接おいでください。

◆成年後見無料相談会

- 日時：奇数月第3水曜日 10時～12時
- 場所：きずな館 2F会議室
- ◎予約制 事前に予約が必要です。

無料で貸し出しています

◎きずな館2F会議室

ボランティア活動を目的としたグループが無料で利用できます。

*コロナ禍のため現在利用を制限しています。

*ボランティア登録が必要です。

月～金曜日 午前9時～午後5時

土曜日 午前9時～午後3時

利用申し込み 事前に電話で予約してください。

休館日 日曜日、国民の祝日、12月29日～1月3日

車椅子を貸し出しています

ご利用ください

- ①対象者 一時的に車椅子が必要になった方
- ②利用方法 ご利用の際は矢板市社会福祉協議会の窓口までお越しください。
- ③費用 無料
- ④利用期間 原則1カ月



福祉車両をご利用ください



リフト付きワゴン車



車椅子専用(軽ワゴン車)

- ①対象者 市内に住所のある方
- ②利用方法 予約が必要です(電話可)。ご利用の際は矢板市社会福祉協議会の窓口までお越しください。
- ③利用目的 通院、入退院、転院、事業参加など。
- ④費用 無料(返却時にガソリンを満タンにしてください)
- ⑤利用期間 原則として半日または1日単位、最長2日まで。



権利擁護センター あすてらすやいた

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などの判断能力が十分でない方の権利と財産を守り、地域で安心して自立した生活を送れるようにお手伝いするのが、権利擁護センター「あすてらすやいた」です。

◎次のようなことでお困りの方はお気軽にご相談ください。

- ・日常的な金銭の管理に不安がある。
- ・福祉サービスの利用手続き等の手伝いをしてほしい。
- ・通帳や印鑑等の保管に不安がある。など

◎必要に応じて次のような3つのサービスを利用することができます。

◆福祉サービスの利用援助

様々なサービスについての情報提供や専門家の紹介、サービス申し込み手続きの代行や、本人に同行して支援等を行います。

◆日常的な金銭管理サービス

本人に代わって預貯金の出し入れ、公共料金や家賃の支払い等を行います。

◆書類等預かりサービス

預金通帳、権利書、保険証書、実印等を安全に保管します。

ご利用までの流れ



問い合わせ ☎43-8700 (あすてらす専用)

愛の訪問事業

社会福祉協議会では、**80歳以上のひとり暮らしの方**の安否確認を主な目的として、ヤクルトの無料配付を行っています。

こんな方が
利用できます。

♥ 80歳以上でひとり暮らしの方
(同一建物・同一敷地内または、近隣に
近親者が居住している場合は対象外)

♥ 介護サービス(デイサービス・ホーム
ヘルパー・高齢者給食サービス等)を
週2回以上利用していない方

高齢者等給食サービス

社会福祉協議会では、高齢者を対象に栄養のある食事を提供するとともに、安否確認を主な目的として、お昼にお弁当を届けます。(1食200円、週1回配食)

こんな方が
利用できます。

♥ 70歳以上でひとり暮らしの方、
高齢者のみの世帯の方
(同一建物・同一敷地内または、近隣に
近親者が居住している場合は対象外)

♥ 介護サービス(デイサービス・ホーム
ヘルパー・愛の訪問事業等)を週3回
以上利用していない方

令和4年度 ボランティア保険 加入受付中

保険料 (1名あたり) (団体割引20%適用済 過去の損害率による割増引適用)

加入プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	(新設)特定感染症重点プラン
保険料	350円	500円	550円

〈基本プランに加入される方へ〉

基本プランでは地震、噴火、津波に起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

◆令和4年1月17日からゆうちょ銀行の払込み料金が改定されましたのでご注意ください。



助け合い・支え合い

矢板市社会福祉協議会は、地域で暮らす様々な人たちが、世代や分野を超えて連携・協働し、高齢になっても安心して暮らし続けられるまちを目指して、地域の助け合い・支え合いを推進しています。

第2層協議体情報交換会を実施しました

令和3年12月24日 3地区のメンバーが集まり、各地区の活動紹介と意見交換・情報交換を行い、他地区の方との交流や活動を知る機会になりました。

第2層協議体



小地域福祉活動推進モデル事業アドバイザーの小野先生に講評をいただきました。

- ・地域のさまざまな立場の方が自分の地域について、共通して考える場として第2層協議体ができただことは、とても重要。共通の目的を持ち、自信を持って今後も続けてほしい。
- ・今回のように地区を越えて交流ができる機会を、継続して作っていくことが非常に大事。



宇都宮短期大学
小野篤司 准教授

話し合いの場に参加してみませんか？

関心のある方の参加をお待ちしています！まずはお気軽に、社会福祉協議会までご連絡ください。

※新型コロナの状況により、休止となることがあります。

※話し合いの様子や地域福祉活動などは、あいあい通信・社会福祉協議会のホームページでご覧ください。

矢板 助け合いの会
「やさしい手」
第4金曜日 14:00～
会場：きずな館

泉 ぼっちの会
第3金曜日 14:00～
会場：泉公民館

片岡 ささえあいの会
第4水曜日 14:00～
会場：片岡公民館

地区社会福祉連絡会

地区社会福祉連絡会(地区社会福祉協議会)は、自分たちの暮らしている地域での福祉的な困り事を、自分たち自身の問題として取組み、自分たちの地域をより住みやすい地域としていく活動を行う任意の団体です。

地区社会福祉連絡会フォローアップ研修会を実施しました



地区社会福祉連絡会と3地区の第2層協議体の方が参加しました。オンライン開催の地域共生シンポジウムで、「地域共生社会の意義と実現に向けて」の講演と、先進地の取組みを学びました。

それぞれの地域の実情に応じて活動していけるように。今後もさまざまな取組みや活動を学べるような研修の機会をつくっていきます。

のある地域づくり



地域の見守り

毎日笑っていますか？

～笑いの健康効果～



笑ったあとには、免疫力がアップしたり、こころの健康や認知症予防の効果も確認されています。

コロナ禍では大声で笑い合うことが難しいですが、口角を上げて笑顔をつくるだけでも同じ効果が得られると言われています。

サロンや地域の集まりなどで交流し、
楽しく過ごして健康を維持していきましょう！



地区社会福祉連絡会や行政区が行う訪問型見守り活動の際に、配付しています。(栃の実基金補助事業を活用しています。)

介護サポーター入門講座

介護サポーター入門講座(介護に関する入門的研修)は、矢板市から委託を受け、生活支援の仕方や介護について学ぶ初心者向けの講座として、毎年実施しています。



高齢者疑似体験



排泄介助の学習



食事の介助



全8日間にわたる研修を終え、
修了証が交付されました。

介護の基本、認知症や障がい者への支援やかかわりかたなどを講義と実技を通して学びました。



やいたベンチプロジェクト

市内に「誰でも座れるベンチ」の設置を広める活動です。

高齢者や障がい者の外出支援になるだけでなく、会話や交流の機会が生まれ、孤立防止・見守り合いが行なえるやさしいまち、安心して暮らせるまちづくりにつながります。

「誰でも座れるベンチ」の広め方

- 1 お元気マップ協力事業所の敷地内にある既存のベンチに「誰でも座れるベンチ」のステッカーを貼る。
- 2 お元気マップ協力事業所の敷地内に、新たにベンチを設置する。

目印は、このステッカーです。



ベンチを設置してくれる事業所とベンチづくりボランティアを募集しています！！

材料となる木材は、市内事業所から寄付をいただきました。
ご協力ありがとうございました。



ベンチプロジェクトは、栃の実基金補助事業を活用して実施しています。

縁ジョイ講座

ボランティアの出番・役割づくり、参加者の趣味と仲間づくりを目的に開催しました。
行った内容をサロン等地域に広めていけるように活動しています。

11月



一輪挿しタペストリーづくり

12月



ミニ門松づくり

やいたシニアマイスター・縁ジョイサポーター連絡会



縁ジョイ講座に関わるボランティアが集まり、今年度の活動報告と来年度の活動計画などを話し合いました。

募集!!

縁ジョイ講座と一緒に盛り上げてくれるボランティア

- ・やいたシニアマイスター
趣味や特技を活かして講師として活動するボランティア
- ・縁ジョイサポーター
講座の準備や運営を手伝うボランティア



新たな形のボランティア、地域で行われている活動の情報をぜひお寄せください。

体操ボランティア ～コロナ禍でも体操の機会をつくりたい～



交流や運動の機会が減り、要介護状態になる方が増えています。楽しく体を動かす機会をつくれたらと体操の動画を作成しました。動画を見ながら、体操を続けて健康維持に役立ててください。

通岡シルバー会(きらきらサロン) ～再び介護施設と交流できることを願って～



玄米ダンベル

コロナ禍で介護施設との交流が行えなくなっていました。施設のみなさんで体操をしてもらえるようにと、サロンのみんなで玄米ダンベルを作成しました！

片岡長生会(シニアクラブ) ～窓ぎわのピーヒャラドンドン～



介護施設内に入れなくても何とか活動の機会をつくり、施設を利用されている方々を元気づけられたらと、エントランスや駐車場でお囃子を演奏し、窓越しの交流を行いました。

施設職員以外との交流は久しぶり、お祭りがきたような盛り上がりでとても喜ばれました。



仲間づくり・健康づくり

2022年3月 第9号

お元気だより

シニアボランティアセンター
(矢板市社会福祉協議会内)
矢板市扇町二丁目4番19号
☎44-3000

富田シニアクラブ (富田公民館)



きらきらサロン 出前講座



介護保険等について学びました。

いきいき体操教室



感染対策を行いながら、体操をしています。

グラウンドゴルフ



参加者全員でマスクを外して記念撮影！



卒寿

記念品を届けました。



つるし飾り



手芸サークル



美化活動
(奉仕活動)



ダンスサークル



※マスクを着用していない写真は、コロナ禍前のものです。

富田シニアクラブでは、「きらきらサロン」を月4回開催し、脳トレ、健康いきいき体操、四字熟語、加減剰余、割合、なぞなぞ、しりとりゲームなど、介護予防を意識した内容を行っています。シニアクラブ活動は、駅前周辺の美化活動(奉仕活動)、レザークラフトや折り紙、パッチワーク、社交ダンスが得意な方がリーダーになり活動しています。昨年は手芸サークルの会員が、交通安全を呼びかけるためのつるし飾りを作成し、約2千個を矢板警察署に寄贈しました。

私たちの活動は、①健康と生きがい・仲間づくり、②地域社会貢献などをモットーとしています。

地域みなさん、私たちと一緒に活動しませんか？仲間ができて楽しいですよ！



【富田シニアクラブ】
代表 蜂巢 三男



お元気ポイント

新型コロナ感染対策をとり、さまざまな工夫をして開催されていました。

いきいき体操教室

三区ことぶき会（矢板三区公民館）



順番待ちの間のおしゃべりに花が咲きます。



リハビリ専門職による体力測定

成田シニアクラブ（成田公民館）



栄養講話

ストーブを囲み、栄養士さんの話を聞きました。
みなさん、真剣な表情です。



きらきらサロン

つばさきらきらサロン（長井公民館）



DVD鑑賞



令和3年5月からサロンがスタートしています！

長井行政区の方だけでなく、市内の方ならどなたでも参加可能です。
毎週木曜日13時30分から集まっています。

※参加希望の方は、社会福祉協議会までご連絡ください。

ココマチきらきらサロン（ココマチ）



歌声サロン

感染状況が落ち着いた10月に、感染対策をし、
久しぶりに開催しました。



荒井行政区きらきらサロン（荒井公民館）



棒体操

新聞紙で作った手づくりの棒を使い、柔軟やバランスアップの体操を
行なっています。



コリーナきらきらサロン（コリーナ矢板公民館）



コグニサイズで脳を活性化！

左右にステップ運動をしながら数を数え、
3の倍数で拍手をします。



※サロンやボランティア、地域活動の様子を掲載していきます。ぜひ情報をお寄せください。



お元気だよりでは、高齢者のみなさんの元気な活動や地域で行なわれている福祉活動を紹介しています。コロナ禍でできることは限られてしましますが、「何か活動してみたい！」と思うことがあれば、生活支援コーディネーターまでお気軽にご連絡ください。

拠点の活動紹介



泉ぼっちの会(泉地区 第2層協議体)企画！ 泉地区サロン合同 フラダンスを楽しむ交流会



泉地区にサロンを増やしていければと、泉ぼっちの会が企画・運営し開催しました。現在活動している3ヶ所のサロン参加者と泉地区の住民、シルバー大学校北校フラダンスサークル『フラリリー』の方に協力いただき、34名が参加しました。

出前講座

サロン等の居場所活動支援のため、ボランティアの協力で実施しています。



レコード鑑賞



大正琴演奏



人形劇



万華鏡づくり



玄米ダンベルづくり&玄米ダンベル体操



ハーモニカ演奏&マジック



ランプシェードづくり



一輪挿しタペストリーづくり



出前講座のご希望がありましたら、社会福祉協議会までご連絡ください。また、出前講座に協力いただけるボランティアも募集しています！



立志式のプレゼント贈呈



矢板市更生保護女性会

令和4年1月に、今年の立志者、市内4中学校(矢板・沢分校・泉・片岡・付属東)の2年生へ市内在住の方からの絵手紙と会員が心を込めた手作りストラップをプレゼントしました。今後もこの活動を継続していきたいと思います。



矢板中学校



泉中学校



片岡中学校

矢板東高校定時制で思いやり講座を実施しました



12月22日(水)、「地域共生社会のまちづくり」をテーマに、車イス介助体験やパラリンピックの競技種目のひとつである「ボッチャ」でスポーツ体験に取り組みました。

障がい福祉について理解を深め、生徒さんから「車いすを利用している方で困っている人がいたら、声をかけてみたい。」との意見があり、皆で思いやりの心を育みました。

令和3年度 年末年始ボランティア活動事業報告



えほん広場

矢板市
シニアクラブ
連合会



歳末たすけあい募金を原資として、市内で活動しているボランティア団体に対し、年末年始のボランティア活動費を助成しました。

各団体が特色を生かした福祉活動に取り組んでいます。

団体名	ボランティア活動内容
AKICHI	子どもの体力づくりを目的とした年末年始ゲーム企画の開催
えほん広場	親子に本の楽しさを広めるクリスマス会の開催
おはなしポットの会	ワークスタかはらや花りんご等の施設でクリスマス会の開催
風車	冬休みの思い出づくりを目的とした古民家でのお餅つきと語りべの開催
片岡四区ボランティア「たかくらの会」	特別養護老人ホームたかくらの里でのクリスマス会の開催
ガールスカウト栃木第22団	市内病院や福祉施設等へ鬼仮面とお雛様花飾りのプレゼント配布
傾聴笑がお	特別養護老人ホーム利用者へクリスマスプレゼントの配布
青少年リーダー育成・子育て生涯学習支援ソフィア	市内病院や福祉施設へクリスマスカードを配布・花いっぱい活動
創年大学ぶらぶらクラブ	放課後等デイサービスりんごの木クリスマス行事支援
花水木の会	発達障がいテーマとした講演会の開催
矢板市シニアクラブ連合会	市内四か所の特別養護老人ホームに年末年始のプレゼント配付
矢板市更生保護女性会	那須学園生に飲食物やお花のクリスマスプレゼント配付
老人給食ボランティア	クリスマスにマドレーヌの特別食とタオルとマスクのプレゼント配付

事務局だより

高齢化、人口減少が進む中、国が提案した地域共生社会とは、人と人と資源が世代や分野を超えて一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をもとに創っていく社会を目指すものです。私たち社会福祉協議会は、この国のビジョンの実現に向けて取り組んでいます。

少し難しいことを書きましたが、かつては当たり前だった「つながり」を頼りに、「相互扶助」という難しい言葉より「おたがいさま」「おかげさま」など優しい日本語の溢れる、そんな暮らしを見つけていこうというものです。

いつの間にか「人生百年」といわれるようになり、心豊かに「ありがとう」をたくさんいえる暮らしをいっしょに創っていきましょう。そのために「きずな館」にいる私たち「社会福祉協議会」をもっと知っていただけるよう努めていきます。

